

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.936 (33-8) 2019年2月16日

賃上げ・職場要求の前進めざそう！

各労組の19春闘要求が決定し、回答指定日（内航3月1日、3月4日。外航3月31日）に向けた労使交渉が始まりました。航空各社の2019年3月期決算は、好調な旅客需要に支えられ好業績が予想されています。一方、現場は高稼働による労働強化を背景に健康被害が表面化しています。賃上げはもとより勤務改善など、安全で働きやすい職場に変えることが求められます。

	主な春闘要求
日航ユニオン	ベア4%、夏季一時金3カ月、時短・休日増、人員増、AFRS手当、屋外作業手当、暖房手当他
GHU	ベア21000円、夏季一時金3.1カ月+5万円、人員増、労働時間短縮、夜勤改善、同一労働同一賃金、二重賃金の見直し他
JAS 新労組	ベア2.97%、夏季一時金2.56カ月、住宅手当、屋外手当、賃金制度の見直し他
NAFCO	ベア10000円、60歳以降賃金引上げ、保全主任手当、施設工事手当、出向手当他

GHU=JGS 労組・JGS 大阪労組・JGS 九州労組の連合体。
主な要求には JGS 労組の単組要求含む。

JLU 整備に特化した手当の拡充

「屋外で作業する整備士に特化した制度の拡充を求める声が年々高まっている」と話す JLU 書記長。JLU は 19 春闘で、ベア4%をはじめ時短休日増、人員増、寒冷地勤務者の負担軽減につながる暖房手当、屋外作業手当（新設）の実現を目指します。加えて、海外エアラインの整備受託に伴う資格手当でもある AFRS の拡充を求めます。また日本航空では、2019 年度第 4 四半期には増便に合わせ勤務を見直していくことが明らかになっており、勤務改善に向けた交渉も本格化していくことが予想されます。



GHU（JGS グループ 3 労組の連合体）では、統一要求としてベア 21000 円、夏季一時金 3.1 カ月+5 万円、時間短縮、

GHU ベア21000円、格差是正など

シフト手当増額、正社員と有期社員の手当の格差是正（同一労働同一賃金）、正社員の労働条件のまま継続雇



用を要求します。JGS 労組は 2016 年の会社統合時に導入された二重賃金・退職金制度の解消（基本給や退職金制度のグローバルへ一本化）を求めます。JGS 労組書記長は「同一労働同一賃金に向け、裁判でも正社員と有期社員間の手当の格差を認めない判決が出ている。JGS でも手当の格差是正に取り組む」と話します。

60歳以降の賃金制度改善

成田空港で空港の設備関係の保守点検を行う労働者で組織する NAFCO 労組。今春闘ではベア 1 万円をはじめ制度改善など 11 項目の要求の前進を目指します。NAFCO 労組委員長は「60 歳以降の再雇用者が増加傾向にあり、現行の大幅に引き下げられた賃金制度の引上げはまったなしだ。日々の作業では管理職を代行する業務もあり保全主任手当を新たに要求していく。施設工事手当や出向手当に対しても実現を求めることが強く、しっかり取り組んでいく」と話します。

買収によって昨春闘から新経営との交渉が始まった JAS 新労組。賃金や一時金の引き上げをはじめ職場改善に力を入れています。今春闘では、ベア 2.97%、夏季一時金 2.56 カ月をはじめ住宅手当、屋外作業手当の前進を目指します。賃金制度の改善は引き続き重要課題として取り組んでいます。

2020 年から首都圏発着枠拡大は、成田空港については増枠を早めることについて地元自治体との合意ができたことから今年冬ダイヤから増便になることが予想されます。安全で働きやすい職場に変えるための人員・器材増はまったなしです。19 春闘では、賃上げをはじめ職場改善をめざしましょう。

以上